

No. 1327

プール開き

梅雨空が遠のき、真夏を思わせる太陽が照りつける6月16日、東洋一の規模を誇る東京の豊島園では早くもプール開きが行なわれた。泳ぎ初めにはある私立の女子高生2500人が招待され、水中騎馬戦やプールの底にしずめた“宝探し”などを楽しんだ。この日気温は28度を越え、7月上旬並み、プールサイドは一足早い真夏のムードに包まれた。気象庁天気相談所の話では本格的な水の季節の到来は7月中旬すぎになるという。

海を安全に

みなとヨコハマ。海の玄関と言われるこの横浜港には外国船をはじめ大小さまざまな船が出入りしています。そのため船の衝突事故や犯罪が多く発生しています。横浜港周辺が担当海域の海上保安庁横浜本部ではこれらの衝突事故や犯罪を未然に防ぐため常時、巡視艇を配備して監視の目を光らせています。

パトロールには7隻の巡視艇55人の係官がその日のスケジュールに従って監視活動を行っています。天候、航行船舶の情報は衝突事故を未然に防ぐ大切な仕事のひとつです。港内に停泊中の貨物船の臨時立入検査。この仕事は密航、密輸、殺人などの犯罪につながるだけに特に念入りに行われます。海のレジャーを楽しむ人がここ数年急激に増加しています。定員オーバーであったり、荒天にもかかわらず船を出すなどの危険をおかすつりふねもあります。こうした船に注意を与えるのも乗組員の役目。また最近船舶のあて逃げ事件がふえています。あて逃げは生命にもかかわるだけに大変悪質な犯罪です。昨年一年間に衝突海難事故は2,300隻あまりに昇っています。広い洋上であるためひとたび事故が発生すると人命にかかわります。ひとりひとりが海のルールを守って安全な海にしたいものです。